

令和7年度（2025年度）

管理事業名	医療・薬事事業				総合計画 の体系		大綱 3 福祉・健康			
							政策 4 健康・医療のまちづくり			
							施策 3 地域医療体制の充実			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	4	衛生費	(項)	1	保健衛生費	(目)	1	保健衛生総務費
部局名	健康医療部	予算執行 所属		保健医療総務室、地域保健課						
事業の目的と概要										
【目的】										
市民に適正かつ安全な医療が提供されることを目的に、市内の病院や診療所、施術所及び薬局等への指導等を行う。また、保健所業務の円滑な執行及び来庁者と職員の安全確保を目的に、保健所庁舎の効率的な管理を行う。										
【概要】										
保健所の施設維持管理を実施。保健所業務管理システムの運用保守管理を実施。										
医療法や医薬品医療機器等法等の各種法令に基づき、各種申請、届出の受付や審査、許可、監視指導を実施。										
統計法に基づく各種統計調査を実施。薬物乱用防止等についての啓発活動を実施。										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	指 標 の 定 義
医療機関や施術所等の各種申請、届出の受付等件数	件	370	412	401	病院、診療所、施術所等の開設、変更、廃止等各種申請届出受付、許可等の件数
薬局や店舗販売業者等の各種許可や届出等受理件数	回	1,278	1,339	1,203	薬局、店舗販売業者等の開設、変更、廃止等各種申請届出受付、許可等の件数
薬事関連啓発回数	回	76	65	73	市報への掲載回数、ポスター等の掲示箇所数、講習会開催数等啓発回数

II 活動実績・成果

【指標1】医療機関や施術所等の各種申請、届出の受付等件数についての評価 ・令和7年度：401件（前年度比：11件の減） ・法令の規定に基づいた事務を行っており、当該事務を通じて、市民への適正かつ安全な医療の提供に寄与している。 【指標2】薬局や店舗販売業者等の各種許可や届出等受理件数についての評価 ・令和7年度：1,203件（前年度比：136件の減） ・法令の規定に基づいた事務を行っており、当該事務を通じて、市民への適正かつ安全な医療の提供に寄与している。 【指標3】薬事関連啓発回数についての評価 ・令和7年度：73回（前年度比：8回の増） ・当該啓発を通じて、薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関して考えていただく機会となる。 ・前年度と比較して、デジタルサイネージ等の市の広報媒体による啓発など、新たな取り組みにより増加している。 ほかに、保健所庁舎の管理、及び保健所業務管理システムの運用保守管理を実施。	
--	--

III 課題と今後の取組

経常経費の多くを給与関係費と物件費が占める。 市民に適正かつ安全な医療が提供されるよう、医療法や医薬品医療機器等法などの各種法令に基づき、効率的かつ効果的に各種申請や届出の受付、審査、許可等を行い、監視指導に努める。 照明の間引き等により節エネルギーを積極的に行い、光熱水費の削減をはじめ、より効率的な保健所庁舎の運営に努める。	保健所庁舎の土地・建物は令和2年4月の中核市移行に伴い大阪府から吹田市へ一部譲渡されたが、昭和63年の建設から30年以上が経過し経年劣化に対応するため、適切な維持保全を計画的に行う必要があることに加え、市民の相談でセンシティブな内容に対応するための相談室、事務スペース、倉庫及び書庫が不足している中で、有事の際の保健医療調整本部機能を効果的に発揮できるスペースと設備を確保する必要がある。 今後はこれらの課題を解決するため「吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画」に基づき適切な時期に大規模改修を行っていく。
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A
流動資産				流動負債	8,003	9,198	1,194
現金預金	-	-	-	地方債	-	-	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	7,425	8,620	1,194
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	578	578	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
固定資産				固定負債	64,517	78,577	14,059
事業用資産				地方債	-	-	-
有形固定資産	628,065	608,880	△19,185	長期借入金	-	-	-
土地	396,998	396,998	-	退職手当引当金	63,217	77,854	14,638
建物・工作物	229,188	210,581	△18,607	リース債務	1,301	723	△578
リース資産	1,879	1,301	△578	その他固定負債	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	負債の部合計	72,521	87,774	15,254
無形固定資産	9,631	12,147	2,516	純資産	565,175	533,253	△31,923
インフラ資産	-	-	-				
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	637,696	621,027	△16,669	純資産の部合計	565,175	533,253	△31,923
				負債及び純資産の部合計	637,696	621,027	△16,669

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	3,367	3,678	3,405	△273
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	7,485	7,733	8,753	1,019
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	342,163	7,518	7,256	△262
経常収入 小計(a)	353,015	18,929	19,414	484
経常費用				
給与関係費	87,657	91,785	103,482	11,697
物件費	37,861	35,373	34,809	△564
維持補修費	3,864	4,179	3,057	△1,122
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	445	188	264	76
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	16,534	23,324	22,511	△814
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	6,743	7,425	8,620	1,194
退職手当引当金繰入額	4,545	5,011	17,760	12,749
支払利息	-	-	-	-
その他	364,748	-	-	-
経常費用 小計(b)	522,397	167,284	190,502	23,218
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△169,381	△148,355	△171,089	△22,734
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△169,381	△148,355	△171,089	△22,734
一般財源充当額	126,297	125,060	139,166	14,106
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△43,084	△23,295	△31,923	△8,628

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	17,714	18,929	19,414	484
行政サービス活動支出	140,067	143,411	152,160	8,749
行政サービス活動収支差額	△122,353	△124,482	△132,746	△8,264
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	3,366	-	5,841	5,841
投資活動収支差額	△3,366	-	△5,841	△5,841
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	578	578	578	-
財務活動収支差額	△578	△578	△578	-
収支差額 合計	△126,297	△125,060	△139,166	△14,106
一般財源充当額	126,297	125,060	139,166	14,106
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	吹田市保健所建物・工作物の減価償却による減 18,607千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市民一人	コスト 1,366 円 実績 382,336 人	435 円 384,302 人	494 円 385,999 人
	コスト 円	円	円
	実績		

分析内容 市民一人当たり494円のコストがかかっています。(令和8年3月31日現在の人口)

人にかかるコストの内訳

	給与関係費 等(千円)	うち時間外手 当等(千円)	月平均従事 人数(人)
常勤・再任用	120,584	917	11.69
会計年度任用等	8,601		
特別職非常勤	676		
合計	129,861		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		22.7	28.5	34.3	5.8
施設維持補修費比率		1.2	1.3	1.0	△ 0.3
経常費用対公共資産比率		162.9	52.2	59.4	7.2
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		0.6	2.2	1.8	△ 0.4
一般財源充当比率		87.7	86.9	87.8	0.9